

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [宝達志水町立樋川小学校] 担当教諭名 [尾崎 久美子] (6年 27名)

交流相手国 [アメリカ]

海外学校名 [J M Hill Elementary School] 担当教諭名 [Jennifer Husson]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界に目を向けて	20
	外国語活動	自己紹介をしよう 相手にカードを送ろう	4
	図画工作	キャンバスに絵を描こう	6

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	国境を越えて～文化, 自然, 平和, 夢, 友情を未来に～
絵に込めたメッセージ	日本にも, 外国にもそれぞれたくさんの伝統文化や自然があることを感じてほしい。お互いの文化を知ること, それぞれの国のよさを実感し, 未来を明るくしよう。いつまでも仲よく助け合っているように手を取り合って協力し, 絆を深めよう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> みんなで協力して楽しく学習でき, いろいろなことに興味をもてた。自主的に取り組み, みんなで仲良く助け合い, 一生懸命絵を描き, 協力する大切さを学べた。 自分たちの国や文化, アメリカの国や文化などをフォーラムや絵を通して知ることができた。 お互いの文化や考え方を共有できた。 相手国との交流ができ, 国境を超えた友達ができ, 日本とアメリカの絆が深まった。 	<ul style="list-style-type: none"> もっと相手国や異文化について知りたかったが, 時間が足りなかった。 他の国についても知りたかった。 調べ活動や制作に時間がとてもかかってしまった。まだ伝えたいことがたくさんあった。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか? 周りの反響はどうでしたか?

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> 学級通信等に交流活動の内容を紹介した。 給食時に, 全校児童の前で壁画を披露し, 交流の内容や成果を伝えた。 全校児童や地域の方に見てもらえるように, 学校行事に合わせて廊下に掲示した。 	<ul style="list-style-type: none"> とても素晴らしい作品と声をかけていただき, 児童はとても満足そうであった。 アートマイルの活動が一番心に残っているという児童がいた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	5月 6月	・アートマイルプロジェクトで参加校が制作した壁画を鑑賞 ・英語の自己紹介を考える	・児童は、とても興味を示していた。 ・相手国をととても楽しみにしていた。	総合2 外国語1
情報収集	6月 7月	・「世界に目を向けて」というテーマで各自テーマを決め、日本と世界について調べる ・英語で自己紹介する	・世界の中の日本という意識をもつようになる。 ・自分の好きなもの、将来の夢などをカードに記入し絵も使って英語で自己紹介カードを作成した。	総合7 外国語1
テーマ検討	9月 ～ 11月	・相手校に伝えたいテーマを決め、グループ毎に情報収集 ・自己紹介ビデオを作成し、相手に郵送	・調べた日本のよさを画像映し出ししながら、クラスで紹介し合った。知らない日本の文化や自然、よさを知って自国愛を深めた。	総合10 外国語2
制作	12月	・各自図案を持ちより、クラス全員で構図検討。相手校にも参加してもらい多数決で図案を決定 ・掲示板に下書きを載せて相手国に提案 ・壁画実行委員が中心となり、キャンバスに下書き・彩色 ・年賀状制作	・日本らしさや日本のよさが伝わるものを取り入れながら構図を創り上げた。相手校の意見も取り入れることで、共同意識が高まった。 ・色作りに苦心したが、毎時間とても楽しそうに作業を進めていた。 ・相手校からニューイヤーズカードと手作りプレゼントが届き、異文化を感じながら大変喜んでいた。	図工6
鑑賞	3月	・共同制作した絵の鑑賞	・届いた壁画を広げると、児童からは歓声が上がった。相手国との違いを見つけながら興味深く鑑賞していた。改めて、お互いを理解し合い協力する大切さを感じていた。 ・全校の児童に紹介すると、絶賛され、児童は満足そうであった。また、自分たちのこれまでの活動に誇らしげだった。	総合1

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	・たくさんの時間を使ってみんなで調べて、改めて日本のこと、自分の国の知らないことについてよく分かった。また、クラスで発表し合うことで、さらによく分かった。 ・日本には伝統文化がたくさんあると調べ学習や壁画制作を通して感じた。そして、自分の国の文化に自信がもてた。
異文化の理解	B	4	・自分たちの知らないことがたくさんあると、送られてきた絵を見て感じた。 ・外国について知らないこと、外国の文化がたくさん知れた。 ・相手国との共通点を見つけることができた。文化の違いや似ているところを知って、アメリカへの思いがより深まった。 ・アメリカの国の自然や特徴、アメリカのすばらしさがよく分かった。 ・もう少し相手国について詳しく知りたいと思った。

コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	4	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん練習して英語で自己紹介をした。 ・英語を書くのにも読むのにも苦労したが、がんばって英語に訳しながら、英語を使つての説明ができた。英語がわからなかったけど、わかろうと自分なりに考えた。そして、英語が少し読めるようになった。すると、意思疎通できた気がした。 ・翻訳して、英語の読み方や書き方を学べた。言語は違うけど、分かり合えた。 ・相手との接し方が分かった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	4	<ul style="list-style-type: none"> ・前よりも調べ方が上手になった。 ・自分たちの国について伝えるうえで、いろいろなことを調べることができた。たくさんの情報を集めて、伝えたいことを相手国に発信することができた。 ・楽しく調べることができ、英語に訳して発信できた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなと協力できたし、相手国の人もたくさん交流できた。 ・交流し合って楽しかったし、とてもわくわくした。相手の人と、仲良くなれた気がした。 ・文化を通じてコミュニケーションをとることができた。 ・いっしょにがんばって、相手のことが知れた。 ・一対一で手紙の交換などをして、心をこめて相手と交流できたし、交流相手同士で関係を築くことができた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで役割をしっかりと分担して成し遂げた。 ・責任をもって、みんなで心を一つに協力して仕事ができる。協力の大切さが分かった。 ・アメリカの子どもたちと協力して一つのすばらしい絵が描けた。
学習を追究する意欲	B	4	<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもち、テーマを決めて楽しく取り組めた。 ・もっといろんなことが知りたいと思った。 ・質問して答えが返ってきたら、その答えに対してまた疑問に思った。 ・アメリカの絵と日本の絵を比べて楽しかった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを絵でしっかり表わすことができ、伝えたいことが相手に伝わったと思う。 ・キャンパス日本の文化をよく考えて、心をこめてたくさん描けた。 ・たくさんの案を出し合い、話し合っつて図案を決めることができた。
作品を鑑賞する力	B	5	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とアメリカの絵で、すごくきれいだった。色がとてもきれいだった。すごくいい絵に仕上がったと思う。 ・相手と心が一つになったと思った。 ・お互いの作品にいいところがたくさんあった。日本と外国の違いを絵から気づくことができた。相手が何を伝えたいかすぐに分かった。 ・深く鑑賞でき、細かいところまで目がいくほど興味をもてた。